

平成 29 年 2 月 3 日

守谷市議会議長 殿

委員長： 高橋 久典 印

報告者： 長谷川信市 印

議会運営委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施・参加 したので報告します。

視察・研修日	平成 29 年 2 月 2 日 (木)
視察・研修場所	栃木県大田原市
視察・研修項目	(1) タブレット端末による防災訓練について (2) タブレット端末の活用方法について
参加者	守谷市側 議会運営委員会委員 (佐藤弘子委員除く) 議会 B C P ワーキングチーム (長谷川、堤)
	相手側 黒澤副議長外担当議員, 議会事務局佐藤主査
視察・研修目的	議会 B C P 策定にむけたタブレット端末による防災訓練 タブレット端末の活用 ・その他
視察・研修内容	議会における災害対応 (タブレット端末利用) タブレット導入経緯
視察・研修総括 (今後の取組み等)	タブレットを利用した情報収集の必要性。守谷市においても災害時の議会 (議会議員) の機能、行動を明確にすることが必要であると考え。と同時に議会としての防災訓練の実施も必要。

視察・研修内容

【タブレット端末による情報収集・伝達訓練】

(目的)

タブレット端末のメール機能や位置情報確認機能（GPS内臓）を活用し災害発生時の災害情報の収集・伝達手段として訓練を行う。

訓練日当日は、災害時を想定し、議員の安否確認や災害情報収集などの訓練

【情報収集訓練】

① タブレットの位置情報確認機能を活用し、議員は居住地周辺の災害発生現場（又は発生の恐れのある場所）の写真を撮りメールに添付し本部へ送信。送信後は、速やかに本部に集合。本部において、各議員から送信された写真をプロジェクターによりスクリーンへ投影し、併せて地図情報により撮影場所の確認。状況等について解説を行う。

② タブレットのテレビ電話機能（フェイスタイム）を活用し、現地と本部とにおいて生中継を行い現地からの生の声と中継された動画をスクリーンへ投影。

【議会のタブレット端末導入経緯】

平成25年9月、ICT化を図ることを議長へ答申

平成26年6月、市執行部が先にタブレット端末を導入

平成26年12月タブレット端末導入決定

タブレット端末：アップル製 iPad Air 16GB

ソフト名：サンドボックス・クラウド本棚

【効果と課題】

経費削減 ・コピー用紙代約29万
・総経費213万ータブレット経費172万＝41万
・事務効率向上

課題 ・改選などによる新しい議員への対応
・通信に不具合が発生した時の対応